

2017年5月26日 全4頁

千年の大計「雄安新区」はうまくいくのか？

「政府・国有企業主導」と「イノベーション主導」の両立は難しい

経済調査部
主席研究員 齋藤 尚登

[要約]

- 中国共産党と国務院（内閣）は2017年4月1日に、河北省保定市の雄安新区の設立を発表した。雄安新区は、鄧小平氏主導の広東省深圳経済特区、江沢民・元総書記主導の上海浦東新区に比肩する、中国の「千年の大計」、「国家の大事」と位置付けられている。
- 中国社会科学院によると、雄安新区は伝統的な製造業を誘致せず、新世代情報技術や無人化技術といったハイテク技術を生かした産業と、それを支える研究機関、大学を誘致するとしている。先端産業や研究機関を誘致し、環境共生型の未来型都市を建設するというコンセプトは、日本で言えば、筑波研究学園都市に近いイメージなのではないか。
- 雄安新区は、世界的大都市に変貌した深圳経済特区や上海浦東新区のような成功が保証されているわけではない。かつてのような地域的な優遇税制は終了しているし、雄安地区に先端産業や研究機関、大学等が集積する誘因は、「習近平総書記が主導する」という部分に多くを依存せざるを得ない。しかし、「党・政府、国有企業主導」と「イノベーション主導のハイテク・先端産業の発展」が両立できるかは疑問である。現在のハイテク産業とイノベーションの中核都市としての深圳経済特区の成功は、政府・国有企業の関与が小さく、自由度の高い民間企業が主導していることが主因の一つであることを考えると、インフラ整備一巡後の雄安新区の成功は相当なチャレンジだと思えるのだが、どうだろうか？

千年の大計とされた雄安新区

中国共産党と国務院（内閣）は2017年4月1日に、雄安新区の設立を発表した。雄安新区は河北省保定市に設けられた国家級新区である。中国で最初の国家級新区は1992年10月に認可された上海浦東新区で、その後、2006年5月に天津濱海新区、2010年5月に重慶両江新区の設立が認可された。2011年以降、国家級新区は設立ラッシュの様相を呈し、今回の雄安新区は19番目の新区となった。上海浦東新区を別格として、数多の国家級新区の中で、雄安新区が目されるのは、習近平総書記が自ら主導するプロジェクトだからである。雄安新区は、鄧小平氏主導の広東省深圳経済特区、江沢民・元総書記主導の上海浦東新区に比肩する、中国の「千年の大計」、「国家の大事」と位置付けられている。

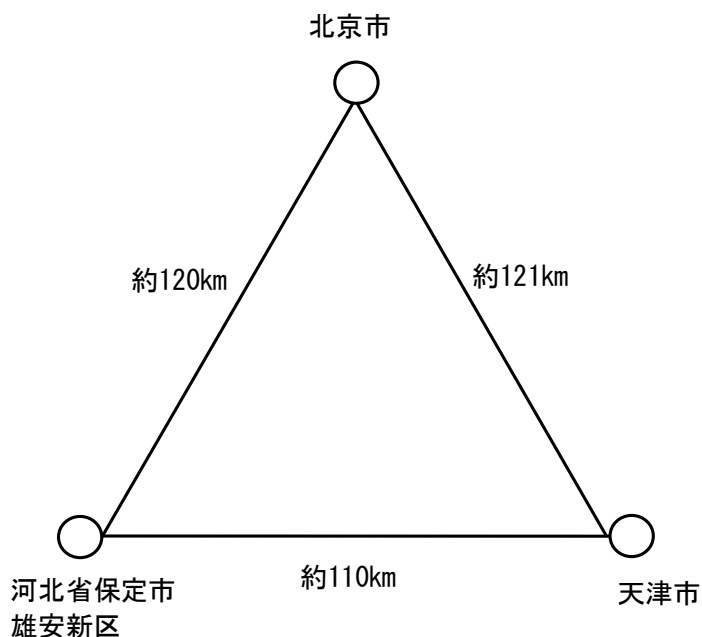
雄安新区が国家級新区に選ばれた主因の一つは、北京市、天津市からの近さである。雄安新区は、北京市の南西約 120 km、天津の西約 110 kmに位置し、この3つを結ぶとほぼ正三角形に

中国の国家級新区一覧

	新区名称	設立認可日	主体都市	面積 (km ²)	機能・特徴
1	浦東新区	1992年10月11日	上海市	1,210	国際経済センター、国際貿易センター、国際輸送センター、国際金融センター
2	濱海新区	2006年5月26日	天津市	2,270	北の国際輸送センター、国際物流センター
3	兩江新区	2010年5月5日	重慶市	1,200	先進製造業と現代サービス基地
4	舟山群島新区	2011年6月30日	浙江省舟山市	陸地1,440、海域20,800	海洋総合開発試験区
5	蘭州新区	2012年8月20日	甘肅省蘭州市	1,700	西部大開発の促進
6	南沙新区	2012年9月6日	広東省広州市	803	広東・香港・マカオの包括的協力モデル区
7	西咸新区	2014年1月6日	陝西省西安市、咸陽市	882	文化を礎にした現代的な都市建設
8	貴安新区	2014年1月6日	貴州省貴陽市、安順市	1,795	体制メカニズムの改革・イノベーション
9	西海岸新区	2014年6月3日	山東省青島市	陸地2,096、海域5,000	海洋強国の推進
10	金普新区	2014年6月23日	遼寧省大連市	2,299	北東アジア各国との協力強化
11	天府新区	2014年10月2日	四川省成都市、眉山市	1,578	ハイテク産業の集積区、都市・農村一体化した発展モデル区
12	湘江新区	2015年4月8日	湖南省長沙市	490	長江経済デルタの内陸への開放、イノベーション創業産業の集積区
13	江北新区	2015年6月27日	江蘇省南京市	2,451	東部沿海地域のモデルチェンジ（産業高度化）
14	福州新区	2015年8月30日	福建省福州市	1,892	東南沿海現代産業基地、改革・イノベーションモデル区、エコ文明先行区
15	滇中新区	2015年9月7日	雲南省昆明市	482	西部地域新型都市化総合試験区
16	ハルビン新区	2015年12月16日	黒竜江省ハルビン市	493	中国・ロシアの包括的協力、旧工業基地のモデルチェンジ発展試験区
17	長春新区	2016年2月3日	吉林省長春市	499	東北振興、体制メカニズム改革先行区
18	贛江新区	2016年6月14日	江西省南昌市、九江市	465	中部崛起、江西省のイノベーション開放先行区
19	雄安新区	2017年4月1日	河北省保定市	当初100、長期的2,000	非首都機能の移転、京津冀（北京市・天津市・河北省）一体化発展計画

(出所) CCTV新聞を基に大和総研が加筆・作成

雄安新区の位置関係



(出所) 報道より大和総研作成

なる。中国では、北京市・天津市・河北省の一体化を通じた発展を目指す、京津冀協同発展プロジェクトが推進されており、雄安新区はこのプロジェクトの一環と捉えられている。雄安新区の周辺には、高速道路、旅客専用線などの幹線交通が既に整備され、今後、高速鉄道で各都市が結ばれば、北京市、天津市、河北省石家荘市（省都）、河北省保定市を 30 分程度で移動できる大都市圏が形成されると期待される。

さらに、開発コストが低いこともある。雄安新区は、河北省保定市の雄県、容城県、安新県の 3 県とその周辺が開発対象地域であるが、3 県の面積は 1,557 km²、2015 年末の人口は 113 万人にすぎず、人口密度は低い。雄安新区の中心は一面の小麦畑とされ、都市建設が可能な土地が豊富に存在する。ちなみに、この 3 県の 2015 年時点の 1 人当たり GRP（域内総生産）は 1.88 万元（約 31 万円）であり、全国平均の 4.94 万元（約 81.5 万円）の半分以下にとどまっている。

雄安新区の機能と発展計画

雄安新区の建設を推進する布陣も既に固められた。2017 年 4 月には雄安新区が所在する河北省の省長に、直前まで深圳市トップを務めていた許勤氏が就任し、新区建設の責任者には天津市濱海新区のトップを務めた袁桐利氏が起用された。ちなみに、京津冀協同発展専門家諮問委員会のトップは、元上海市長の徐匡迪氏であり、深圳経済特区、上海浦東新区、天津濱海新区で経験を積んだ人物が、雄安新区の建設のために結集した形となっている。

習近平総書記は、雄安新区建設の重要方針として、①環境に配慮したスマートシティの建設、②美しい生態環境の整備、③イノベーション主導の先端技術産業の発展、④質の高い公共サービスの提供、⑤高速・高効率の交通網の構築、⑥体制メカニズム改革（より市場機能を重視した制度・体制への改革）の推進、⑦全方位的な対外開放の実施、の 7 つを掲げた。

雄安新区の重要な機能の一つが、北京市の過密化・交通渋滞などの改善を目的とした、非首都機能の移転である。現時点で中央企業の 80%以上が北京市に本部を置いているが、その一部は雄安新区に移転する可能性があり、4 月 6 日には中央企業の中国船舶工業集団が北京市にある本部を雄安新区に移転する計画を発表している。

中国社会科学院によると、雄安新区は伝統的な製造業を誘致せず、新世代情報技術（ビッグデータ、クラウドコンピューティング、ユビキタスネットワークなど）や無人化技術といったハイテク技術を生かした産業と、それを支える研究機関、大学を誘致するとしている。先端産業や研究機関を誘致し、環境共生型の未来型都市を建設するというコンセプトは、日本で言えば、筑波研究学園都市に近いイメージなのではないか。

雄安新区は長期的なプロジェクトであり、当初面積は 100 km²、中期面積は 200 km²、長期面積は 2,000 km²と、最終的には東京都よりもやや小さい面積が開発される計画となっている。

新華社によると、当初面積の 100 km²については、

①2020 年までに雄安新区の基幹交通網を基本的に建設し、インフラ建設を進め、産業配置の枠

組みが基本的に形成されるなど、新しい都市のひな形が姿を現す、

②2022年の北京冬季五輪までに、全てのインフラ建設が基本的に完成し、雄安新区の中心地区の開発を基本的に完成する、

③2030年までに、エコ低炭素で情報スマート化され、住みやすく働きやすい現代化された新たな都市が活力を発揮し、強い競争力と影響力を有し、人と自然が調和・共存し、広く名を知られた都市となる、ことを目指している。

雄安新区はうまくいくのか？

雄安新区は習近平総書記が自ら主導するプロジェクトであり、国内の注目度は極めて高い。4月1日夜7時の中央テレビのトップニュースで雄安新区の設立が伝えられるや、住宅購入者や不動産仲介業者が殺到した。1㎡当たり5,000元～6,000元だった当該地域の住宅価格は、翌日には2万元～3万元に跳ね上がり、政府当局は即座に現地不動産仲介業者の店舗・拠点を閉鎖し、全ての不動産取引が停止されるなど、雄安新区建設は混乱の幕開けとなった。

こうした混乱はさておき、雄安新区の強みは、政府や国有企業・銀行の強力なサポートを得られることであり、既に国家開発銀行（政策銀行）は同新区に1,300億元の融資を行うことを発表している。

とはいえ、世界有数の大都市に変貌した深圳経済特区や上海浦東新区のような成功が保証されているわけではない。香港に隣接する深圳経済特区は、安価で豊富な労働力と企業所得税の減免措置などを誘因に、加工組み立て型の外資系企業の誘致に成功して世界の工場となり、現在ではハイテク産業とイノベーションの中核都市となっている。また、上海市の旧市街地の浦西地区は当時から商業・金融の大都市であり、やはり優遇税制をテコとした外資導入の奏功もあって、浦東新区は国際的な金融・貿易・物流センターへの道を力強く歩むことができた。しかし、既に中国では地域的な優遇税制は終了しているし、雄安地区に先端産業や研究機関、大学等が集積する誘因は、「習近平総書記が主導する」という部分に多くを依存せざるを得ないのが現状であろう。

ただし、「党・政府、国有企業主導」と「イノベーション主導のハイテク・先端産業の発展」が両立できるかは大いに疑問である。現在のハイテク産業とイノベーションの中核都市としての深圳経済特区の成功は、政府・国有企業の関与が小さく、自由度の高い民間企業が主導していることが主因の一つであることを考えると、インフラ整備一巡後の雄安新区の成功は相当なチャレンジだと思えるのだが、どうであろうか？